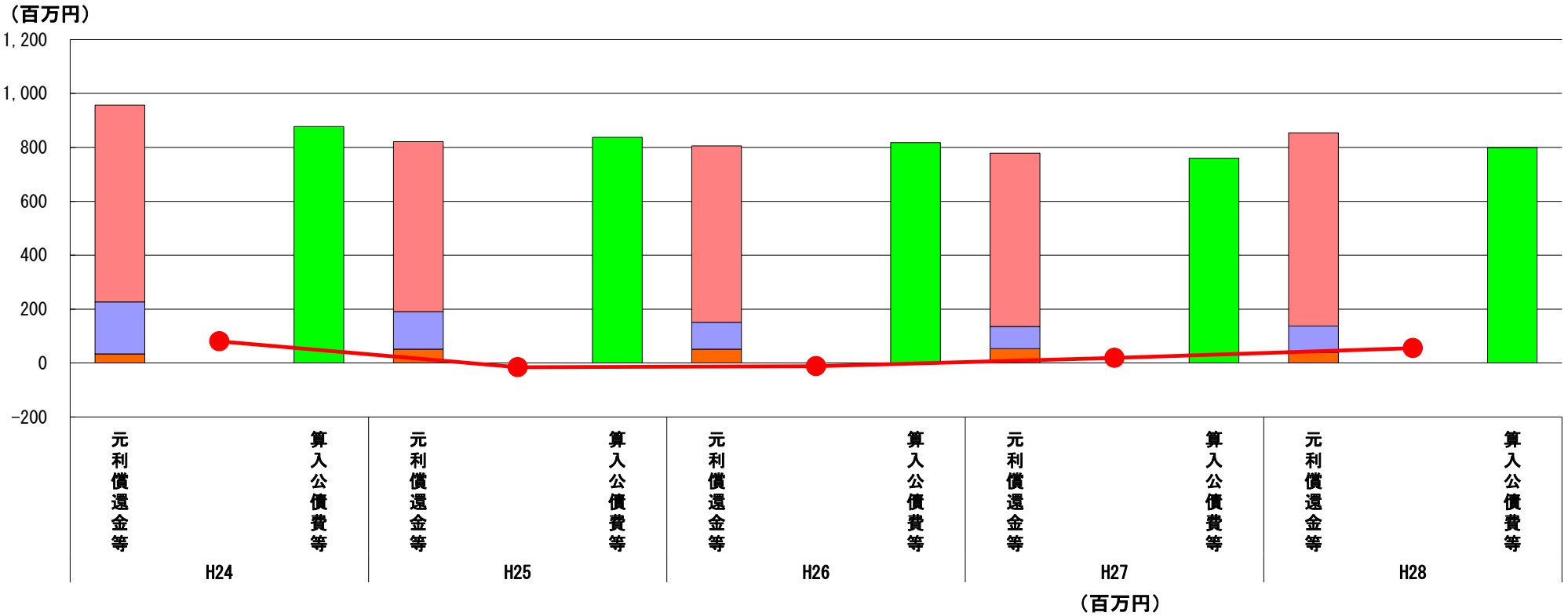


(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成28年度

長野県下諏訪町



分子の構造		年度	H24	H25	H26	H27	H28
元利償還金等 (A)	元利償還金		730	631	655	644	717
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		193	138	99	82	98
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		34	52	52	53	39
	債務負担行為に基づく支出額		-	-	-	-	-
	一時借入金の利子		0	0	0	-	0
算入公債費等 (B)	算入公債費等		877	837	818	760	799
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		80	▲ 16	▲ 12	19	55

分析欄

実質公債費の分子は、ここ数年一般会計及び公営企業会計において元利償還金が年々減ってきていることから、減少傾向にあったが平成28年度においては、対前年度比36,227千円増の56,027千円となった。要因としては、一般会計の元利償還金については、近年実施してきた大型の投資的事業の借入金の償還が本格的に始まったことから前年度比73,556千円増の717,215千円、公営企業地方債充当繰入金についても、15,684千円増の98,036千円となった。一方で、公債費から差し引く控除財源である算入公債費等(B)にあたる都市計画税等の特定財源の額が57,422千円増となったことから、分子の増加幅を抑制する要因となった。

※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。